

# 助けあい支えあう地域を!

～ 2011年度生協強化月間スタート! ～

3月11日に起こった東日本大震災後、あらためて人と人のつながりや地域社会の結びつきの大切さが見直され、力を合わせ協同して生き延びる姿への共感が広がっています。今年の生協強化月間は「新しい特別の背景で取り組まれます。」

群馬中央医療生協は創立60周年という節目でもあり、第4次五カ年計画最終年度として、今後の中長期計画にもつながる目標と位置づけられています。地域では9月支部運営委員会にて「5年後にどんな支部になっているのか、どうありたいのか」を踏まえ、まず何に取り組むべきなのか議論しました。支部を中心とした「助けあいまえあえる地域」を目指し、これまでとは違う取り組みが始まっています。

日常的に安否気づかえるために…  
緊急時マップ! をつくるっ!

大泉千代田支部

大泉千代田支部は、生協強化月間の一環として、地域組合員の「緊急時マップ」作りにとりくむことを計画しています。

3月の東日本大震災のとき、大泉町では屋根瓦が崩れるような被害がありました。自分以外の組合員のみなさんはどうしているのだろうか? という気持ちが、

マップ作りを思い立った動機になったと細貝(副支部長)さんは話しています。地域の高齢化が進み、障害を持っている方を含め、緊急時にお手伝いのできるネットワークの必要性が求められる状況です。細貝さんは更に、このマップ作りを通じて「日常的に安否を気づかう」関係を作りたい、そ

の事が「医療生協の存在と役割を地域の方々に知ってもらえる」と。

緊急時マップ作りは、班会に参加できていない組合員—大泉千代田支部では組合員の約半分—を戸別に訪問することから始めます。いくつかの項目を聞き取ることで、緊急時の必要性をランク分けし、マップ作成をしていく予定です。先月の運営委員会でこの具体化が話され、アンケートを作成し訪問地域を決めて開始して行くこととなりました。



マップづくりをはじめ  
大泉千代田支部のみなさん

つながりいかし  
ふれあい訪問で  
仲間増やし

南町支部

南町支部では年度初めから定期的にふれあい訪問を行っています。訪問するお宅は運営委員さんが気にかけている方などつながりのある方です。

9月11日(日)、二組に分かれ訪問行動を行いました。この訪問で加入された一人の方は支部の委員さんが以前から気になつていた方です。何って加入をすすめると「一人暮らしでもう年だし、病院は利用しないから」と躊躇されましたが、「だからこそ、いざという時のために地域での助け合いなどもしている医療生協にぜひ!」と再度呼びかけると「それなら」と

した。日頃から気にかける合ったり声かけあったりするところが仲間増やしにもつながりました。他に転居先まで伺い名義変更のお願いをするなどで2名の方が加入してくださりました。

今後は「助け合い支えあえるまちづくり」に向けて医療生協をさらに地域に広げていくことが課題です。9月の支部運営委員会で「若い世代の人たちにも医療生協の良さを伝えていきたいよね」とみんなで意見を出し合い、まずは世代を超えて関心が高い「放射能問題」で学習講座を計画することにしました。



ふれあい訪問へ…南町支部のみなさん